

# 教習資料

Ver 2019 1.0

Produced by sawamuragaku.LLC.



# 教本の使い方

重要なポイントは「赤文字」、「青文字」、「太字」等で記載しております。  
強調文字だけで、概ねの意味が通じるように設計されています。

ページの右上には、そのページの「重要性」やインストラクターに「行って欲しい行動」が記載されています。

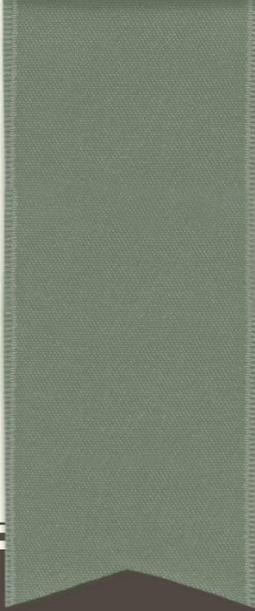
極めて重要です  
根幹要素や根幹ワード、  
必ず身に付けて欲しい事  
が記載されています

知っておくべき事が記載  
されています

状況に応じ使います  
出来ない時に伝えるペー  
ジや伝えないページもあ  
ります

# 走行準備編





---

---

# 走行前の準備

---

---

# 運転席周辺の調整

調整する  
必要に応じ見せる

- ①座席の前後調整
- ②座席のリクライニング調整

- ・ブレーキを踏み足が伸びきらない状態
- ・ハンドル上部を左手で掴み、ヒジが軽く曲がる状態

- ③ルームミラー
- ④サイドミラー
- ⑤ヘッドレスト
- ⑥チルトレバー

## 【サイドミラー調整】

- ・自車のボディが少しだけ見えること
- ・高さは道路6：空4



# ハザードランプの用途

説明する  
必要に応じ見せる



ハザードランプは「**緊急時に使用する**」が原則的な用途となります。

一般的に認知されている使用用途は下記となります。

「**停車時**」

「**車庫入れ時**」

「**サンキューハザード**」

「**高速での渋滞遭遇時**」

## スモールライトの調整

説明する  
必要に応じ見せる



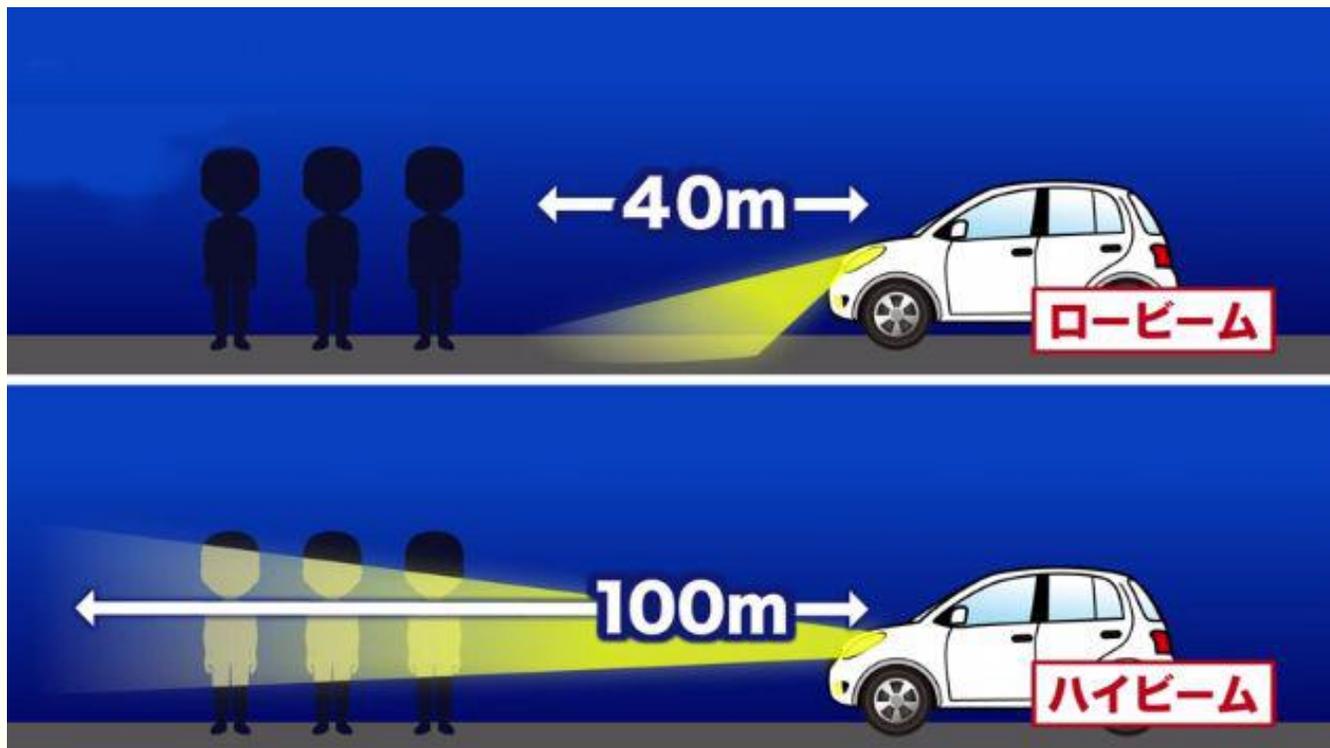
スモールライトは主に下記の状態の際に使用します。

- ・「夕暮れ時」
- ・「夜間の停車時」

**自分の存在を相手に知らせる事**が主な目的となります。

# ハイビームの条件

体験する  
必要に応じ見せる



ハイビームの出し方も覚えておきましょう。

ハイビームは視界が良好になりますが、下記の場合は使用してはいけません。

- ・ **対向車がいる時**
- ・ **前方に走行中の車両がいる時**

# ブレーキランプの状態把握

適宜使用

ブレーキランプの状態も理解しておきましょう。



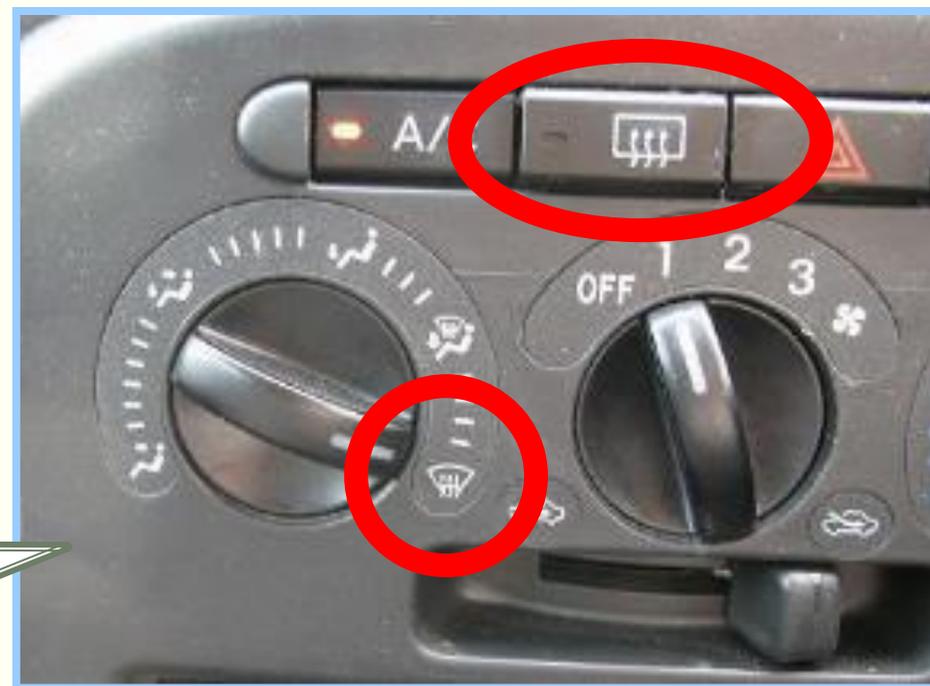
## 操作類の調整

体験する  
必要に応じ見せる

- ◆ワイパー
- ◆窓の開閉
- ◆ウィンドロック
- ◆エアコン調整

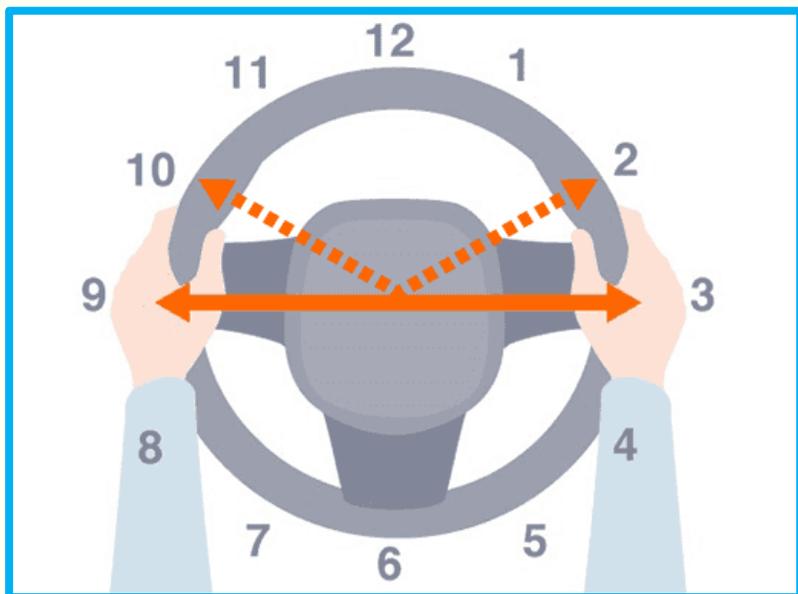
インストラクターと一緒に操作を  
してみましょう

「曇り対策」はしっかりと覚えてお  
きましょう



# ハンドルの持ち方

体験する  
必要に応じ見せる



- ◆ 9時15分を基本にしよう（10時10分でもOK）
- ◆ 力を入れず「軽く支えるイメージ」で握りましょう
- ◆ 「クロスハンドル」で操作しましょう

# アクセル・ブレーキペダル調整

体験する  
必要に応じ見せる

回転数を**キープ**してみましょう

- ・ 1,500回転
- ・ 1,000回転前後 等



アクセルとブレーキの踏み方を決めましょう。

## 【踏み分け方式】

- ・ 小柄な方に向いている
- ・ 移動時に引っかかり難い

## 【スライド方式】

- ・ 大柄な方に向いている
- ・ 移動スピードが速い

# サイドブレーキのロックと解除

体験する  
必要に応じ見せる

## 【解除】

- ①持ち上げる
- ②ボタンを押す
- ③レバーを下げる

## 【ロック】

ボタンを押さずに  
音を聞きながら引っ張る



# シフトレバー（トランスミッション）

説明する  
必要に応じ見せる



【P】 パーキング 強い駐車ブレーキ

【R】 リバース バックします

【N】 ニュートラル 原則使いません

【D】 ドライブ メインで使用します

【S】 セカンド 坂道発進・エンジンブレーキ

【L】 ロウ 坂道発進・エンジンブレーキ